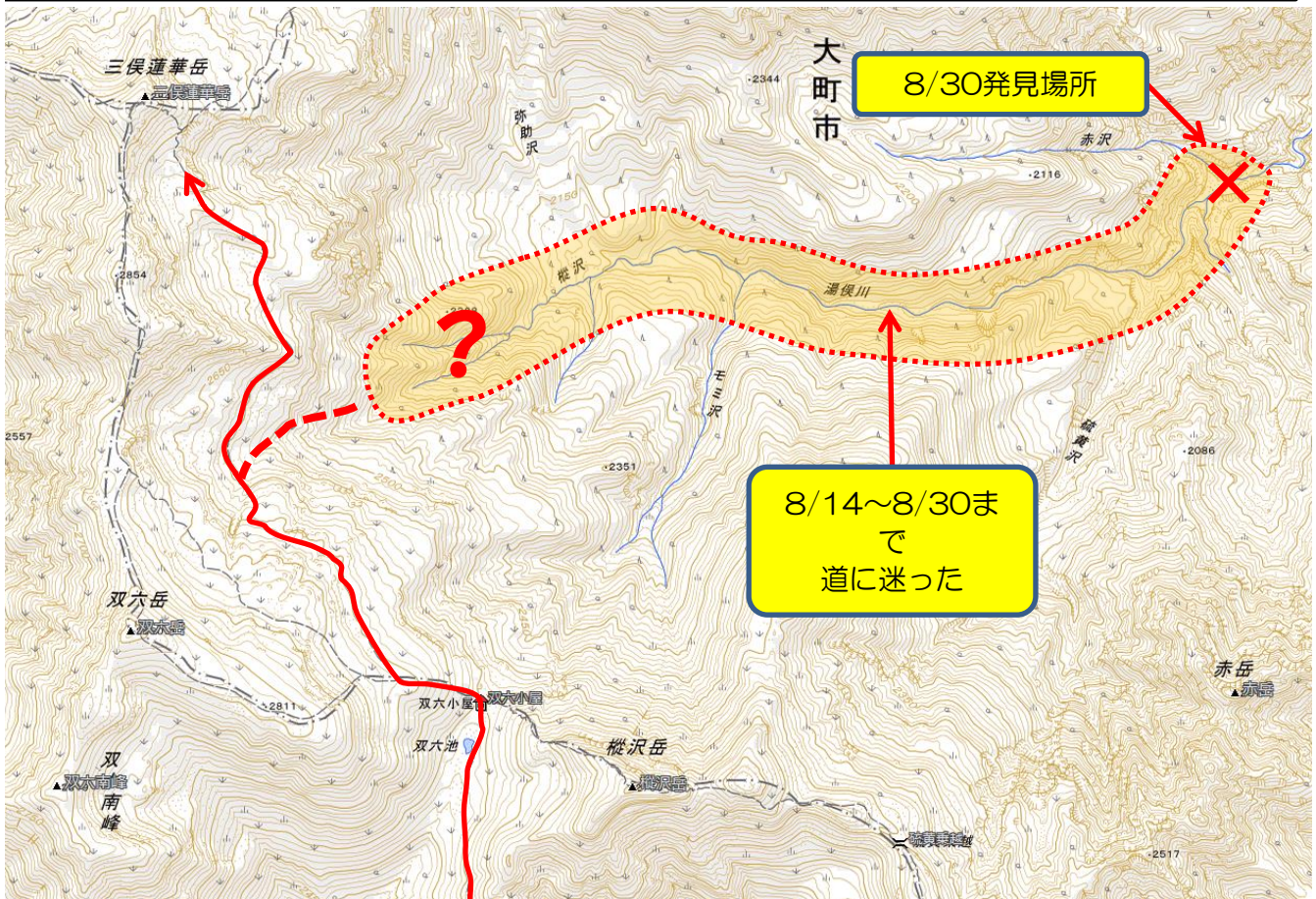


## 三俣蓮華岳遭難(2010年8月)

笠ヶ岳～双六岳～三俣蓮華岳のコース。天候が悪く風の弱いトラバースルートを選択。道が雨で不明瞭となり道に迷う。16日間山中で過ごし、偶然、登山者に発見され事なきを得た。



## 解説

笠ヶ岳山荘から双六小屋(泊)の行動予定が、①双六小屋に思ったよりも早く午前11時に到着した。②翌日の行動が長丁場。③天気もあまりよくない天気予報。のため計画を変更し、三俣蓮華岳に向け出発。風が強かったため双六岳の稜線は諦めてトラバース道を選択。登山道は雨のため道が水浸しになっており、いつの間にか登山道を外れてしまった。

4日間は正しい道を探して山中を彷徨していたが、水が無くなったため沢筋に下り、ビバークしながら沢を下って16日間山中で過ごすことになった。幸い、豊富な行動食を持っていたため10日以上食いつなぎ、食料が無くなってからは、沢の水を飲んで空腹を満たした。

偶然、ガイド登山のパーティーが20年以上も前の廃道を通り、たまたま発見された。ツエルトは持っておらず、幸い天候も雨が降らなかったことも幸いした。

冷静な判断であれば、「双六岳に向かってとにかく登れば、登山道がある。」と思うはずだが、道迷いは、その冷静な判断を許さない。登山道は雨によって不明瞭となることも記憶にとどめ、注意しなければならない。